

## 平成 27 年度板橋区区民意識意向調査の概要報告について

区政全般に対し、区民の意識や意向、区の施策に対する満足度等を捉え、現基本計画の成果指標でもある区民満足度の平成 27 年度時点における数値を捕捉するとともに、平成 28 年度を初年度とする新たな基本計画を策定するための基礎資料とすることを目的として、調査を実施した。今般、概要がまとまったので下記のとおり報告する。

### 記

#### 1 今回調査の特徴

##### (1) Web 回答方式の導入

回答方法を、調査票の郵送による返信又はインターネット上に設置した回答専用 Web ページへの入力とした。

##### (2) 設問について

以下の設問について追加した。

- 「同居している家族」「お住まいの住居形態」を問う設問
- 「生産年齢人口の定住化を促すための成長戦略の認知度・重要度」を問う設問
- 「子育て・教育施策で重点的に力を入れるべき施策」を問う設問
- 「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて重点的に力を入れるべき施策」を問う設問
- 「近所付き合い」を問う設問
- 「区政への参加意向」「区政への参加方法」を問う設問

#### 2 調査概要（概要版 1 頁に掲載）

- (1) 調査対象者：20歳以上の板橋区民3,000人
- (2) 抽出方法：住民基本台帳から層化二段無作為抽出（5地域ごとの登録人口規模で3,000人を按分抽出）
- (3) 調査方法：郵送法（郵送配布、郵送回収又はWeb回答）
- (4) 調査期間：平成27年4月15日（水）～5月1日（金）

#### 3 回収結果

有効回収数 1,296（うち郵送による返信 1,175、インターネットによる回答 121）

有効回収率 43.2% ※前回（平成 25 年 9 月）調査 有効回収率 45.1%

#### 4 調査項目

- |                               |                                   |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 属性（問 1）                   | (5) 生産年齢人口の定住化を促すための成長戦略（問 9～問11） |
| (2) 区での住み心地（問 2～問 4-1）        | (6) 板橋区職員に期待する能力・資質（問12～問13）      |
| (3) 「めざすまちの姿」に対する満足度（問 5）     | (7) 地域コミュニティ・区民参加等（問14～問18-1）     |
| (4) 今後の行政サービスと負担のあり方（問 6～問 8） |                                   |

## 5 結果の概要

結果の概要は以下のとおり。設問欄の頁番号は概要版の該当頁を示し、「新規」とあるのは今回調査から追加したもの。「独立」とあるのは、平成 25 年度調査では「施策に対する満足度」の施策項目であったもののうち、今回調査から別の設問としたもの。回答概要に「前回」とあるのは、平成 25 年度調査の結果を示しており、概要版には掲載されていないものもある。

設問	設問の内容	回答概要
	選択肢数(複数回答上限)	
問 1 (2 頁～)	回答者の属性	性別、年代、居住地域、職業、家族構成、同居家族、住宅形態、居住年数、直前の居住地
	略	

### (1) 区での住み心地

問 2 (3 頁)	区での住み心地	「住みやすい」「まあまあ住みやすい」の合計	今回	前回
	選択肢 4		93.8%	84.2%
※平成 25 年度以前は「どちらともいえない」の選択肢を加えて質問したが、今回調査ではこの選択肢を省いて質問している。				
問 3 (4 頁)	定住意向	「今後も区内に住み続けたい」	今回	前回
	選択肢 2		84.7%	85.7%
		「区外に移り住みたい」	今回	前回
			14.7%	13.3%
問 3-1 (4 頁) (問 3 で「区内に住み続けたい」と回答した方)	区内に住み続けたい理由	第 1 位「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(45.8%) 第 2 位「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(36.5%) 第 3 位「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(29.4%)		
	選択肢 22 (3 つまで)			
問 3-2 (5 頁) (問 3 で「区外に移り住みたい」と回答した方)	区外に移り住むとしたら住みたい地域	第 1 位「東京 23 区内(板橋区を除く)」(63.9%) 第 2 位「その他(海外を含む)」(12.0%) 第 3 位「東京都内の他市町村内」(8.4%)		
	選択肢 5			
問 3-3 (5 頁) (問 3 で「区外に移り住みたい」と回答した方)	区外に移り住みたい理由	<b>区外の方が</b> 第 1 位「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(29.8%) 第 2 位「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(24.6%) 第 3 位「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(22.0%)		
	選択肢 22 (3 つまで)			
問 4 (7 頁) (独立)	区への「愛着」と「誇り」	「愛着」を「感じる」「まあ感じる」の合計	今回	前回
			76.4%	52.1%
	選択肢 4	「誇り」を「感じる」「まあ感じる」の合計	今回	前回
			39.1%	24.7%
※平成 25 年度以前は「どちらともいえない」と「わからない」の選択肢を加えて質問したが、今回調査ではこれら 2 つの選択肢を省いて質問している。				
問 4-1 (7 頁～)	区に「愛着」を感じる理由	第 1 位「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(44.8%) 第 2 位「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(43.8%) 第 3 位「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(38.6%) 第 4 位「治安が良く安心して暮らせるため」(29.8%) 第 5 位「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」(29.1%)		
	選択肢 22 (5 つまで)			

設問	設問の内容	回答概要
	選択肢数(複数回答上限)	
	区に「誇り」を感じる理由	第1位「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(37.1%)
	選択肢 22 (5つまで)	第2位「治安が良く安心して暮らせるため」(36.7%) 第3位「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」(35.5%) 第4位「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(28.4%) 第5位「伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため」(24.3%)

(2) 「めざまちの姿」に対する満足度

問5(10頁～)	施策に対する満足度	55 施策項目の『満足』の割合(「満足」と「まあ満足」の合計の値)			
		『満足』の割合の高い施策項目 (%)			
	選択肢 6	今回		前回	
		1 公共交通	78.6	1 公共交通	75.6
		2 ごみ出しルール	67.9	2 ごみ出しルール	67.6
		3 公園・緑地の整備	62.0	3 食品衛生	65.3
		4 自然地の保全	59.9	4 公園・緑地の整備	56.1
		5 食品衛生	59.8	5 自然地の保全	55.2
		『満足』の割合の低い施策項目			
		今回		前回	
		1 新産業創出	5.3	1 新産業創出	3.4
		2 国際交流	8.2	2 国際交流	4.9
		3 活力ある工業	12.0	3 農地の保全・活用	7.5
4 自転車利用のマナー	14.4	4 障がい者の社会参加	8.4		
5 農地の保全・活用	14.9	5 活力ある工業	9.2		
加重平均値でみる満足度	55 施策項目中、「満足度が高い」(加重平均値が0より大きい)と評価されたものは47項目、「満足度が低い」(加重平均値が0より小さい)と評価されたものは8項目。				
※加重平均値:「満足」に“+2”、「まあ満足」に“+1”、「どちらでもない」に“0”、「やや不満」に“-1”、「不満」に“-2”を与えて算出し、0を基準として満足度を把握	加重平均値の高い施策項目				
	今回		前回		
	1 公共交通	1.00	1 公共交通	0.94	
	2 食品衛生	0.77	2 食品衛生	0.79	
	3 ごみ出しルール	0.75	3 ごみ出しルール	0.72	
	4 自然地の保全	0.66	4 リサイクル	0.56	
	4 公園・緑地の整備	0.66	5 消費生活	0.53	
	加重平均値の低い施策項目				
	今回		前回		
	1 自転車利用のマナー	-0.64	1 自転車利用のマナー	-0.69	
	2 農地の保全・活用	-0.34	2 新産業創出	-0.54	
3 新産業創出	-0.30	3 農地の保全・活用	-0.44		
4 国際交流	-0.23	4 国際交流	-0.34		
5 まちなみ・景観	-0.18	5 震災に強いまち	-0.30		

設問	設問の内容	回答概要	
	選択肢数(複数回答上限)		
	加重平均値と改善度※からみた行政ニーズ  ※改善度：平成27年度と平成25年度との加重平均値の差	<p>今回調査で新たに質問した4項目を除く51施策項目中、</p> <p>○加重平均値・改善度とも高い項目：35項目</p> <p>○加重平均値は高いが、改善度に変化がない項目：2項目</p> <p>○加重平均値は高いが、改善度の低い項目：6項目</p> <p>○加重平均値は低いが、改善度が高い項目：7項目</p> <p>○加重平均値・改善度とも低い項目：1項目</p>	

### (3) 今後の行政サービスと負担のあり方

設問	設問の内容	回答概要			
	選択肢数(複数回答上限)				
問6(19頁)	税金に見合った行政サービスの提供	「感じられる」「まあまあ感じられる」の合計		今回	前回
	選択肢5			28.3%	24.9%
問7(19頁)	将来的な行政サービスと住民負担のバランス	第1位	「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」	今回	前回
		第2位	「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」	32.8%	32.7%
	選択肢5			22.5%	20.2%
問8(20頁)	重点的に力を入れるべき施策	第1位～第5位の累計(%)			
		今回		前回	
		1 介護・高齢福祉・見守り	46.6	1 高齢者介護	40.2
		2 子育て	45.4	2 防災	38.8
		3 防犯	36.4	3 子育て	35.7
		4 高齢者社会参加・介護予防	32.2	4 防犯	34.2
	5 学校教育	29.6	5 学校教育	32.3	
選択肢30(5つまで)	第1位に挙げられた項目(%)				
今回		前回			
1 子育て	27.3	1 子育て	19.9		
2 介護・高齢福祉・見守り	14.1	2 高齢者介護	11.4		
3 高齢者社会参加・介護予防	7.4	3 防災	8.9		
4 学校教育	6.2	4 学校教育	8.8		
5 健康・衛生	5.3	5 防犯	5.2		

### (4) 生産年齢人口の定住化を促すための成長戦略

設問	設問の内容	成長戦略	認知度	重要度
		問9(21頁)(新規)	加重平均値で見る成長戦略の認知度と重要度  ※加重平均値：認知度では、「知っている」に「+2」、「聞いたことがある」に「+1」、「知らない」に「0」を、重要度では、「高い」に「+	(1)文化・スポーツによるにぎわい創出
		(2)産業文化都市「板橋」の創出	0.73 (第1位)	1.39 (第3位)
		(3)未来につなぐ子育て・教育	0.46	1.58 (第1位)
		(4)シティプロモーションによる魅力発信	0.22	0.79

設問	設問の内容	回答概要		
	選択肢数(複数回答上限)			
	2、「ふつう」に“+1”、「低い」に“0”を与え、加重平均値を算出して認知度・重要度を把握	(5) 大学・研究機関等との連携	0.55 (第2位)	1.29
		(6) 地球にやさしい最先端都市の構築	0.28	1.22
	選択肢3	(7) 倒れない・燃え広がらないまちへの再生	0.36	1.50 (第2位)
		(8) 都市の顔となる駅前周辺市街地と交通軸の整備	0.48 (第3位)	1.32
問10(22頁) (新規)	子育て・教育施策で重点的に力を入れるべき施策	第1位～第3位の累計(%)		
		1 保育施設の整備		43.1
		2 乳幼児の子育て支援の充実		31.5
	3 子どもの医療・保健の充実		28.6	
選択肢15 (3つまで)	第1位に挙げられた項目(%)			
	1 保育施設の整備		24.3	
	2 乳幼児の子育て支援の充実		21.7	
3 子育てを支える地域連携強化		10.3		
問11(22頁) (新規)	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて重点的に力を入れるべき施策	第1位～第3位の累計(%)		
		1 災害に強いまちづくり		35.6
		2 道路などインフラの整備		33.6
	3 おもてなしの心の醸成とボランティアの育成		29.8	
	選択肢12 (3つまで)	第1位に挙げられた項目(%)		
		1 まち全体の機運の醸成		15.3
2 おもてなしの心の醸成とボランティアの育成			14.2	
3 災害に強いまちづくり		11.4		

#### (5) 板橋区職員に期待する能力・資質

問12(23頁)	最近1年間の職員と接する機会の有無 選択肢2	「接する機会があった」(54.4%) 「接する機会がなかった」(42.7%)		
問12-1(23頁) (独立) (問12で「接する機会があった」と回答した方)	職員の対応に対する満足度	「満足」「まあ満足」の合計	今回 66.0%	前回* 35.7%
※前回調査では、すべての方に質問している。				
問12-2(23頁) (問12で「接する機会があった」と回答した方)	職員の能力・資質の現状評価 選択肢6	10項目について「そう思う」「まあそう思う」の合計 第1位「わかりやすく説明ができています」(58.2%) 第2位「事務処理に関して迅速な対応ができています」(56.5%) 第3位「誰に対しても公平・誠実な態度で接している」(54.9%)		
問13(24頁)	職員に求める姿 選択肢11 (3つまで)	第1位「誰に対しても公平・誠実な態度で接している」(52.6%) 第2位「わかりやすく説明ができています」(48.6%) 第3位「もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員」(41.4%)		

(6) 地域コミュニティ、区民参加等

設問	設問の内容	回答概要		
	選択肢数(複数回答上限)			
問 14(24 頁)	町会・自治会、NPO 団体への加入状況 選択肢 4	第 1 位「町会・自治会、NPO 団体のいずれにも加入していない」(46.5%) 第 2 位「町会・自治会に加入しているが、NPO 団体には加入していない」(35.6%) 第 3 位「町会・自治会、NPO 団体のいずれにも加入している」(11.3%)		
問 14-1(25 頁) (問 14 で「町会・自治会」「NPO 団体」のいずれか、又はいずれにも「加入していない」と回答した方)	加入していない理由 選択肢 13 (3 つまで)	第 1 位「忙しくて暇がないため」(36.9%) 第 2 位「加入の必要性を感じていないため」(33.6%) 第 3 位「加入するきっかけがないため」(31.3%)		
問 15(25 頁)	地域の活動を活発にするために必要なこと 選択肢 9 (3 つまで)	第 1 位「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(46.2%) 第 2 位「気軽に参加できるイベントの開催」(45.8%) 第 3 位「近所の人とのつながりをつくれるようにすること」(41.0%)		
問 16(26 頁) (新規)	近所づきあい 選択肢 9 (あてはまるものすべて)	第 1 位「顔を合わせると挨拶をする人がいる」(81.3%) 第 2 位「顔を合わせると世間話をする人がいる」(50.2%) 第 3 位「近所に頼れる親または子、親せきがいる」(27.4%) 第 4 位「日ごろからおしゃべりしたり一緒に出かけたりする人がいる」(25.0%) 第 5 位「数日間、家をあけるような時などに留守を頼める人がいる」(21.2%)		
問 17(26 頁) (独立)	まちづくりや区の計画づくりへの参画機会の充実度 選択肢 6	「非常に感じる」「まあ感じる」の合計	今回	前回
	区民の声の区政への反映 選択肢 6		11.3%	11.0%
		「非常に感じる」「まあ感じる」の合計	今回	前回
			10.8%	9.5%
問 18(27 頁) (新規)	区政への参加意向 選択肢 5	第 1 位「わからない」(38.9%) 第 2 位「時間など条件があえば参加したい」(23.9%) 第 3 位「参加しない」(20.7%) 第 4 位「無作為抽出など、参加の機会を直接与えられれば参加したい」(12.5%)		
問 18-1(27 頁) (新規) (問 18 で「積極的に参加したい」「時間など条件があえば参加したい」「無作為抽出など、参加の機会を直接与えられれば参加したい」と回答した方)	区政への参加の方法 選択肢 6 (あてはまるものすべて)	第 1 位「タウンモニター (e モニター)」(45.5%) 第 2 位「ワークショップ」(31.3%) 第 3 位「区民と区長との懇談会・区長と区政を語る会」(24.8%) 第 4 位「パブリックコメント」(20.6%) 第 5 位「付属機関等の委員への就任」(11.6%)		

## 6 基本計画の施策体系別にみた満足度の経年変化

「板橋区基本計画」（平成 18 年度～平成 27 年度）において個別目標ごとに設定している成果指標のうち、区民意識意向調査の満足度（「満足」と「まあ満足」を合計した値。以下、『満足』と示す）を指標とする計 56 項目について、平成 17 年度（基本計画策定時の現状値）から平成 27 年度までの個別目標ごとの経年変化についてまとめた。なお、平成 19 年度以降に新設された施策項目等については、新設された年度の数値との比較となっている。

個別目標	平成 17 年度と比較して、平成 27 年度の『満足』の割合が高い施策項目数	平成 17～27 年度の間で、平成 27 年度の『満足』の割合が最も高い施策項目数
I-1 安心して子どもを産み育てられるまち	4/4	3/4
I-2 次世代の生きる力をはぐくむまち	1/1	1/1
I-3 一人ひとりが健康づくりに取り組むまち	2/3	1/3
I-4 生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち	2/3	1/3
I-5 自立とふれあいにより社会参加ができるまち	4/6	3/6
I-6 すべての人が個性や能力を発揮して活躍するまち	2/4	0/4
II-1 地域の課題を協働で解決するまち	2/4	2/4
II-2 産業が発展するまち	3/3	2/3
II-3 地域資源を生かした新たな産業を創造するまち	2/2	2/2
II-4 豊かな地域文化をはぐくむまち	0/3	0/3
II-5 異なる文化や価値観を尊重しあい交流するまち	1/2	0/2
III-1 安全安心活動に取り組むまち	3/5	1/5
III-2 災害に強く住み続けられるまち	2/2	1/2
III-3 地域の個性を生かした美しいまち	3/4	3/4
III-4 環境を守り資源を大切に利用するまち	2/3	1/3
III-5 暮らしに便利な道路・交通網があるまち	5/5	4/5
III-6 情報の保護と活用を図るまち	1/3	1/3
計画推進のために	3/6	3/6
合計（重複する施策項目を除く）	38/56（67.9%）	27/56（48.2%）

## 7 調査結果の活用

この調査結果を様々な角度から分析することによって、より詳細に区民ニーズを把握し、今後の各種行政サービスのさらなる向上・改善に結びつけていく。

また、現基本計画の成果指標の達成状況の検証及び平成 28 年度を初年度とする新たな基本計画の成果指標の見直し等に活用していく。

## 8 調査結果の公表

企画総務委員会での報告後、区ホームページ、区政資料室、区立各図書館、政策企画課で閲覧可能とする。広報いたばしは 9 月 12 日号に掲載予定。